

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 1 区分
【発行日】平成 18 年 11 月 16 日 (2006.11.16)

【公開番号】特開 2002-62268 (P2002-62268A)
【公開日】平成 14 年 2 月 28 日 (2002.2.28)
【出願番号】特願 2000-253979 (P2000-253979)
【国際特許分類】

G 0 1 N 23/04 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 23/04

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 10 月 3 日 (2006.10.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 放射線ビームを放射する放射線源と、
前記放射線源からの放射線ビームを空間分解能をもって検出する放射線検出器と、
前記放射線ビーム内で被検体を相対回転させる回転手段と、
前記回転手段による相対回転中に前記放射線検出器で得られた被検体の多方向からの透過データから、前記被検体の断面像を作成する再構成手段と、
装置本体の状態変化から必要になった校正種類を判定する必要校正判定手段とを備えて成ることを特徴とするコンピュータ断層撮影装置。

【請求項 2】 前記請求項 1 に記載のコンピュータ断層撮影装置において、
前記必要校正判定手段により判定された種類の校正としては、エアー校正（利得校正）、歪校正、スライス面校正、回転中心校正、F C D 校正（撮影距離校正）のうちの少なくとも 1 つの校正を自動的に行なう自動校正手段を付加して成ることを特徴とするコンピュータ断層撮影装置。

【請求項 3】 前記請求項 1 または請求項 2 に記載のコンピュータ断層撮影装置において、
少なくとも前記放射線源と前記放射線検出器と前記被検体とを収納して成る被検体交換用の開口を有する放射線遮蔽箱と、
前記放射線遮蔽箱の開口を覆う 2 つの部分に分割されそれぞれ開閉自在な放射線遮蔽扉とを付加して成ることを特徴とするコンピュータ断層撮影装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 8

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 9

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 3 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 3 7】

この場合には、この視野サイズ切換を行なった時に、エアー較正、歪較正、スライス面較正、回転中心較正が選択される。